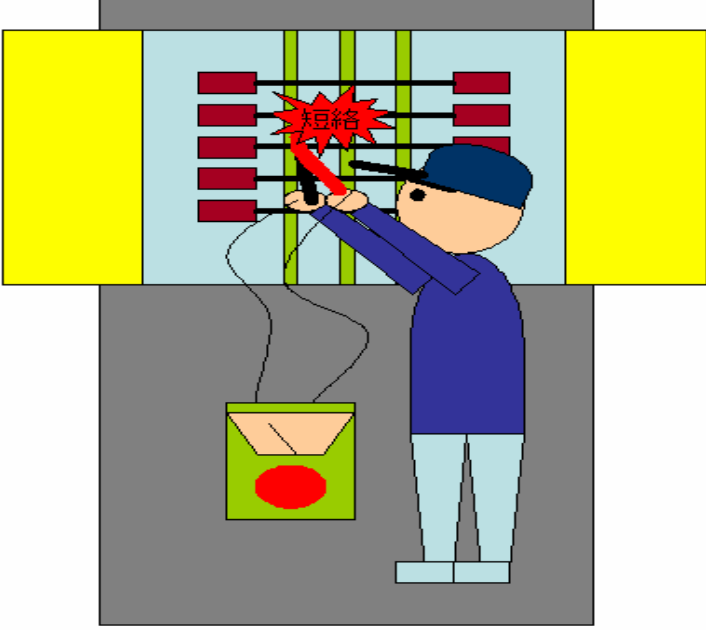


番号 7

事故種別 作業者感電外負傷事故

事故発生	受電電圧 22kV 契約電力 14,500kW
事業所の概要	業種 製造業 主任技術者選任形態 選任
(事故の概要)	
事故発生日時	春 16時30分 天候 雨
事故発生電気工作物	工場内制御盤 使用電圧 AC440V
被害者の概要	作業者、男性 作業経験 15年
原因	作業者の過失
(事故の状況)	
<ul style="list-style-type: none">被害者は、設備入替のための電気工事見積もり依頼を受け、工場内の制御盤で目視による確認を実施したが、1系統不明確な配線が見つかった為見積もり精度を上げる目的で電圧測定を実施することとした。常時携帯しているテスターが手元になかったため、工場所有のテスターを借りて測定したところ、テスターの電圧と電流の端子差込穴を間違えて測定したため短絡し、アークにより両手、顔面に火傷を負った。	
	
(再発防止対策)	
<ul style="list-style-type: none">事前打ち合わせ以外の作業は実施しない使い慣れた自社の測定器を使用	

番号 8

事故種別 作業者感電外負傷事故

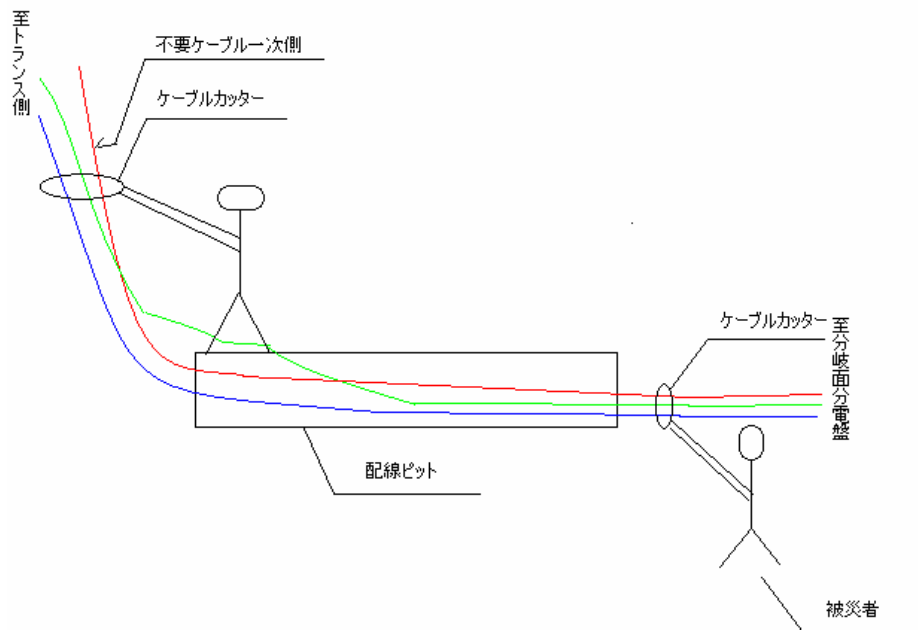
事故発生	受電電圧 22kV 契約電力 3,780kW
事業所の概要	業種 病院 主任技術者選任形態 外部委託（保安法人）

(事故の概要)

事故発生日時 夏 午前11時頃 天候 晴
事故発生電気工作物 電気室内低圧動力幹線 使用電圧 200V
被害者の概要 作業者 男性、作業経験 10年
原因 作業方法不良

(事故の状況)

- ・ 低圧幹線ケーブルの撤去工事中、作業手順ミスにより充電されているケーブルを3線一括で切断したため、アークにより火傷した。

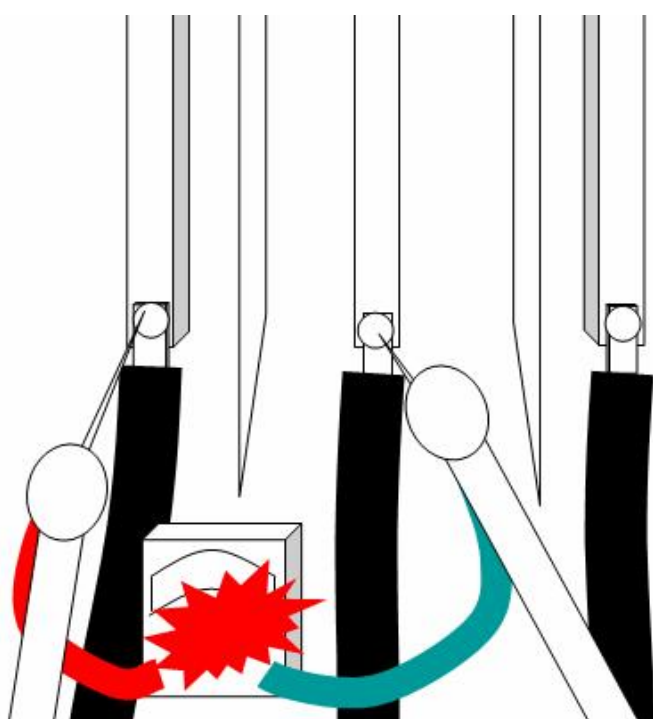


(再発防止対策)

- ・ 作業開始前の危険予知活動の実施
- ・ 防護具の着用及び検電の徹底
- ・ 監視体制の強化 等

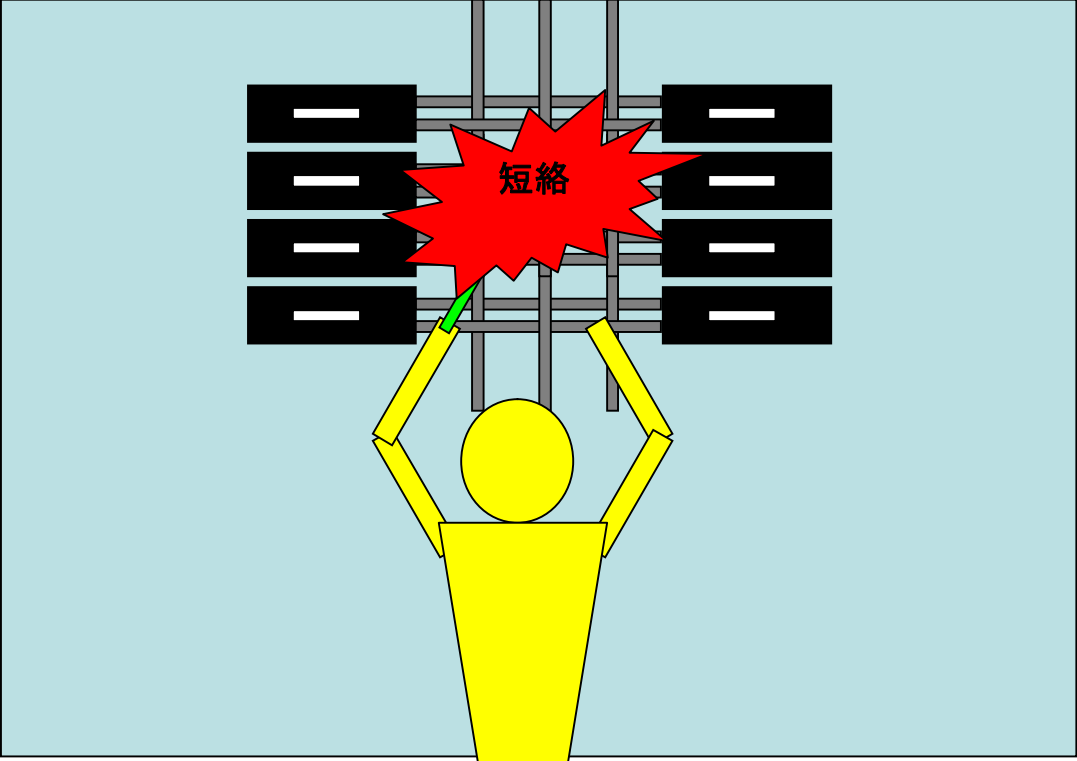
番号 9

事故種別 作業者感電外負傷事故

事故発生	受電電圧 77kV、契約電力 14,170kW
事業所の概要	業種 輸送機器製造業 主任技術者選任形態 選任
(事故の概要)	
事故発生日時	秋 9時00分、天候 晴れ
事故発生電気工作物	断路器 使用電圧 2.2kV
被害者の概要	作業者、男性、作業経験 10年
原因	作業者の過失
(事故の状況)	
<ul style="list-style-type: none">・ 作業指揮者の指示を受けサイリスタ整流装置の精密点検を実施。・ 被害者は、対象機器が高圧 (2,200V) であることを認識していたが、ついうっかりとポケットテスターのプローブを断路器の2次側R-S相間に接触させたため、テスター内で短絡、アーク発生により電撃傷を負った。・ 被害者は、これまで低圧の点検作業しか行ったことがなく、通常、作業前にはポケットテスターで電圧を確認することが習慣付いていた。	
	
(再発防止対策)	
<ul style="list-style-type: none">・ 高圧の検電と断路器の操作方法の作業基準を制定・ 教育の実施 等	

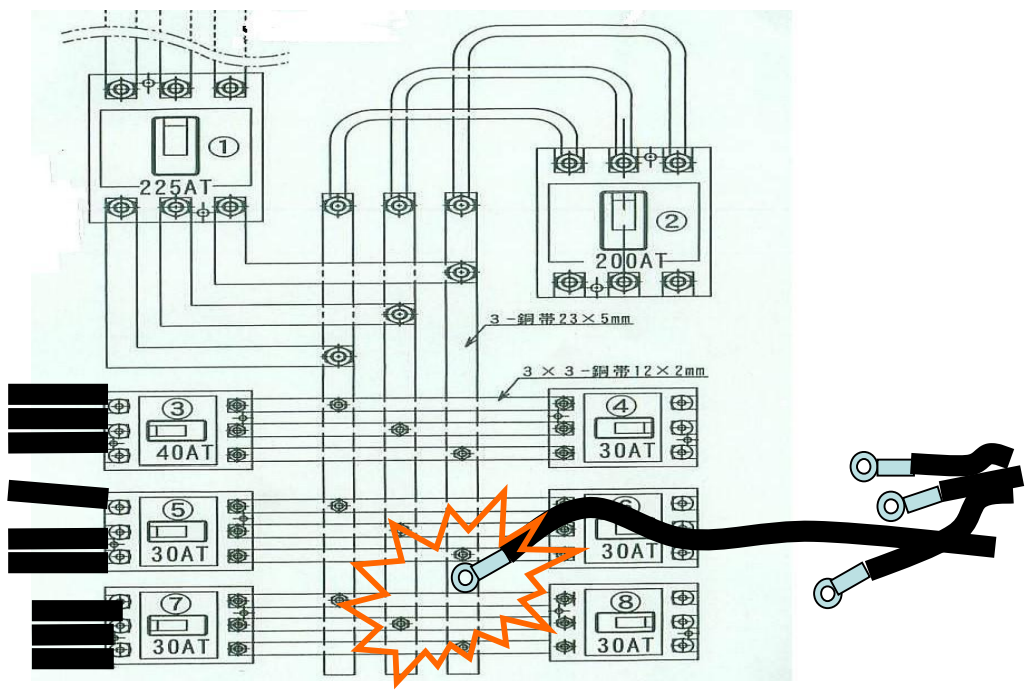
番号 10

事故種別 作業者感電外負傷事故

事故発生	受電電圧 22kV 契約電力 4,000kW
事業所の概要	業種 一般放送業 主任技術者選任形態 選任
(事故の概要)	
事故発生日時	秋 13時30分頃 天候 晴
事故発生電気工作物	低圧電灯分電盤 使用電圧 210V
被害者の概要	作業者、男性、作業経験 6ヶ月
原因	作業者の過失
(事故の状況)	
<ul style="list-style-type: none">・ 屋内配線が仕様書どおり施工されているか、工事請負会社が点検作業を実施していた。・ 被害者は、低圧電灯分電盤の検電の必要のない部位を検電し、線間短絡させアークにより火傷した。	
 <p>The diagram shows a yellow stick figure representing a worker standing in front of a low-voltage distribution panel. The worker is holding a green test lead with both hands, touching it to two different lines on the panel. A red starburst shape with the Japanese characters '短絡' (short circuit) is positioned between the two lines, indicating the point of contact and the resulting short circuit. The panel consists of two columns of four black rectangular components each, with horizontal lines representing busbars connecting them.</p>	
(再発防止対策)	
<ul style="list-style-type: none">・ 回路チェック作業標準の遵守・ 工事現場に即した作業標準の作成・ 検電作業を行う場合は、指差合図で確認し、正しい位置での作業を遵守 等	

番号 11

事故種別 作業者感電外負傷事故

事故発生	受電電圧 22kV 契約電力 4,500kW
事業所の概要	業種 製造業 主任技術者選任形態 選任
(事故の概要)	
事故発生日時	冬 8時30分頃、天候 晴
事故発生電気工作物	動力分電盤 使用電圧 200V
被害者の概要	作業者、男性 作業経験 40年
原因	作業方法不良
(事故の状況)	
<ul style="list-style-type: none">分電盤 2次側 7回線の内3回線のケーブルを取り外す工事中に、外したケーブルの先端の端子が活線状態であったブスバーに接触し、相間短絡したためアークにより顔面に火傷を負った。	
	
(再発防止対策)	
<ul style="list-style-type: none">・ 低圧電気工事実施手順を制定・ 臨時に保安教育を実施 等	

番号 12

事故種別 作業者感電外負傷事故

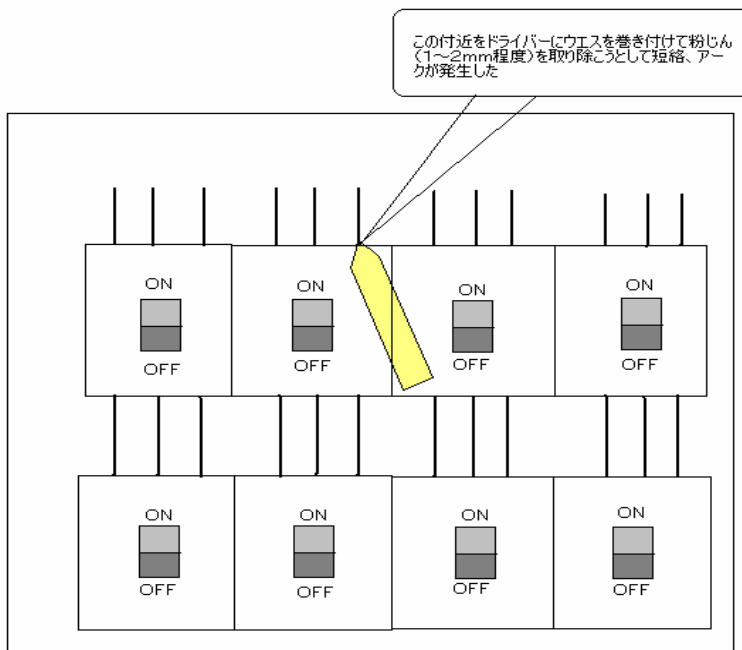
事故発生	受電電圧 6.6kV 契約電力 700kW
事業所の概要	業種 製造業 主任技術者選任形態 選任

(事故の概要)

事故発生日時 冬 9時頃、天候 晴
事故発生電気工作物 低圧分電盤 使用電圧 200V
被害者の概要 作業者、男性、作業経験 43年
原因 作業者の過失／作業準備不良

(事故の状況)

- ・ 分電盤内のブレーカーに堆積した粉じんの除去と点検をするように指示をしていた。
- ・ 被害者は、ドライバーにウエスを巻きつけることで絶縁できていると思いこみ、ブレーカーの一次側線間に差し込み清掃しようとした時、端子間で短絡しアークにより火傷した。
- ・ 作業当日は停電にて作業を行う予定であったが、作業責任者は停電を含む作業手順の指示ができておらず、また主任技術者への連絡も出来ていなかった。



(再発防止対策)

- ・ 作業責任者は具体的な作業指示及び作業中の監視を確実に実施
- ・ 活線近接作業がある場合は、停電による作業を実施
- ・ 電気主任技術者への事前連絡の徹底 等